

育児のちょっとアドバイス

日々の育児の中で、ほっとしたり、ヒントになるような言葉を、本の中から紹介していきます。書籍の貸出も行っています。

自立の元になるのは、意欲です。意欲の元になるのは、安心感です。
安心感は、じゅうぶん甘えて、甘えを受け止めてもらうことで得られます。

じゅうぶん甘えて、安心感をもらった子どもが、
「自分でやりたい」という意欲を持ち、自立に向かってゆくの。
甘えない人が自立するのではなく、甘えた人が自立する。
甘えていい子ども時代に、じゅうぶん甘えた人が自立するのです。

〔中略〕

そういった安心感が、子どもの心を育て、強くし、
「生きる力」になってゆくの。

『子育てハッピーアドバイス よこそ初孫の巻 孫が幸せに育つために』より

明橋大二・吉崎達郎 著 (1万年堂書店 2012年7月発行)

ほっと れもんてい ニュース

寒くなり、ウイルス性胃腸炎やインフルエンザなどが流行しています。「風邪をひいて、1週間外に出られなかったんです」というようなお話もお聞きしました。たくさんの方が集まる場では、気をつけていても病気をもらってしまう場合があり、外出を控えてしまう方もいらっしゃるかと思います。しかし、お子さんにとってはいろいろな場所で遊びたい気持ちでいっぱいのご様子でしょう。ほっと れもんていでは、毎日おもちゃやドアの取手、棚などの消毒、温度・湿度管理に注意しています。また、園内で発生している感染症については外掲示板でお知らせしておりますのでご確認ください。皆さんが気持ち良く過ごせますように、スタッフも気を付けて参ります。

さて、ほっと れもんていでは1月よりアンケートにご協力を頂いております。ほっと れもんていに関して“もっとこうしてほしい”、“こんなイベントをして欲しい”など広くご意見を伺っています。率直なご意見をどうぞよろしくお願い致します。頂いたご意見を元に来年度の活動に活かしていきたいと思っております。 ほっと れもんてい担当:山室 八潮

ほっと れもんてい

(あゆのこ保育園内)

〒243-0032

厚木市恩名1丁目10番38号

電話・FAX: 046-222-6055

<http://www.ayunoko.ed.jp/>

ほっと れもんていは、
地域子育て支援拠点事業(ひろば型)
として厚木市より委託されています。

開設日: 月～金曜日 (祝日を除く)

開設時間: 9:30～16:00

11:30～13:00はお休みとなります。

利用の際の予約や登録は要りません。

開設場所: ほっと れもんてい (あゆのこ保育園内)

13:00～15:00は園庭でお子様と自由に遊んで頂けます。

お越しの際は、あゆのこ保育園の駐車場をご利用いただけます。

台数に限りがございますので、ご了承ください。

地域子育て支援拠点事業(ひろば型)

ほっと れもんてい

2013年 2月号 No. 35

暦のうえではもう春ですが、肌に触れる空気はまだまだひんやりと冷たいですね。ゆったりとお過ごし頂けるよう、ほっと れもんていのお部屋を暖かくしてお待ちしております。お気軽に遊びにいらして下さい。



育児のヒント

皆様の育児の参考にさせていただけたらと、『育児のヒント』を記載しています。

今回は、湘北短期大学保育学科教授 鈴木弘充 先生です。

「育児のヒントと正解」

「ヒント」とは、「問題を解く手がかり」ですが、育児には正解がないので、これといったヒントは出せないのではないかと思います。しかし、世の中には自信を持って「正解」を示して、「そのためにはこうしなさい」といったヒントを提供する人もいます。もしその正解が「親の思い通りに子どもが育つこと」だとすると、そのヒントは子ども本来の発達を歪めるものになりかねません。子どもの成長過程において、親の都合やちっぽけな価値観を越え、思惑からはみ出していくことは、困っているのなら別ですが、思い通りではないからといって、ヒントの必要な問題ではないでしょう。

私は、教育・保育関係の式典や会合に出席することがありますが、主催者や来賓の挨拶を聴いて、暗い気持ちになったことが、おぼえているだけでも最低4回あります。その内容は「自分の子どもは、順調に立派な大人に育ちました(職業を言う方も多いです)。子育て中の皆さん、今は大変でしょうが、がんばってください。」といったものです。励ましの気持ちからの言葉であろうとは思いますが、育児の成功(正解)を得たかのような「育児の先輩」の言葉に違和感を持ったものです。

また、ネットで「抱き癖」を検索すると、泣いている赤ちゃんを抱っこして、「抱き癖がつく」ことを義母や夫に指摘された、若い母親からの質問と回答がたくさん出てきます。指摘した人は育児のヒントを提供しているつもりでも、母親を不安にさせ、ネット上のヒントに安心を求めさせる結果となっています。

このように、昔からの言い伝えや自分の「成功」経験からの育児論、ネット上の情報など、ヒントが溢れていますが、安心を与えてくれるものだけでなく、不安にさせるものも少なくありません。その中でも深刻なのは、専門家や権威が、間違った科学的根拠を背景に、正解やヒントを押しつけてくることです。

かつて、厚生労働省は、保育士資格の必修科目の中で、狼に育てられた少女の例をあげて乳幼児期の養育の重要性を教えることを、授業の例として示していましたが、「狼少女」はでっち上げとする

説が優勢です。そのせい、この記述、今はありません。早期教育の重要性と母親の役割の大切さを説いた、ある育児書にもこの「狼少女」が取り上げられていますが、母親向けで、一度世に出てしまったものは簡単に訂正できないという点で、より深刻です。

もし、頼みもしないのに、育児の正解やヒントを押しつけられて不安な気持ちになったら、信頼できる人に訊くか、ネットで検索しましょう。ネットの書き込みには、嘘や間違い、偏った主張がたくさん見られますが、それは「専門家」も同じです。正解はありませんが、安心できる、じっくりくる、腑に落ちる、これならできそう、試したい、と思える自分に合ったヒントを見つけましょう。

鈴木 弘充

今月の絵本



「はなをくんくん」

文/ルース・クラウス 絵/マーク・シーモント
 訳/きじま はじめ (福音館書店 1967年)



冬の森の中、降り積もる雪の下で冬眠している動物たち。くまも、ちっちゃなかたつむりも、りすも、やまねずみも、みんな丸くなって眠っています。そしてある時みんなが一斉に目を覚まし、はなをくんくんさせながらひとつの場所へ向かって駆け出して行くのです。動物たちがはなをくんくんさせて、走り着いた先にあったものは…一輪の黄色いお花でした。雪の中にお花がひとつ咲いているのを見つけて、動物たちは大喜び！春の訪れの喜びとあたたかさが感じられるお話です。

季節はもうすぐ春ですね。冬の間、茶色の多かった公園の垣根や道端、周りの景色が少しずつやわらかい緑や、黄色いたんぽぽ、小さな青いオオイヌフグリなどに彩られ、色彩豊かな景色へと変わっていきます。冬の間見かけなくなっていたアリなど、小さな虫たちの姿も見つけることができるかもしれません。

子ども達は大人が見逃してしまいがちな小さな変化も敏感に感じ取り、見つけることがとても上手です。発見したことを一緒に喜んでもらえる、嬉しくなってもっともっと見つけてみようという視野が広がっていきます。少し暖かくなり始めたら、お散歩をしながらお子さんと一緒に小さな春を探してみるのも素敵ですね。是非、発見したことをお子さんと一緒に喜び、楽しんでいただけたら、と思います。

暖かな春の訪れが待ち遠しくなるそんな素敵な絵本です。

保育士 小島真由美



食育メモ

『0～2歳児の食具①』

離乳食の段階から「自分の意志で食べようとする力を育てる」ことが大切であることを前号(8月)にお話しました。その方法の一つとして、スプーンやフォーク(食具)を使うということがあります。離乳食の時期は、お母さんが介助して、お子さんの口にごはんを入れてあげていることが多いと思いますが、徐々に自分から食べられる(子どもが自ら口をスプーンに近づけてパクッと食べる)ようにしましょう。また、手を洗うこと、エプロンを付けることなどをお子さんが出来る範囲で協力してもらおう(協力動作)ように促すと良いですね。自分でやりたい意志が出てきたら、どんどん食材に触れてみましょう(手づかみ食べ)。そして、スプーンなどの食具に興味が出てきたら、持たせてあげましょう。まだまだ上手には使えないと思いますので、遊んでしまうようであれば、食具を使うよりも手づかみ食べを十分にさせてあげてください。一般的に、お子さんが①握力がある程度つき、指先でつまむことができる、②手首の返し、ひねりができる、③肘が動き、肩が上がるようになるようになったら、スプーンの練習を始める目安です。スプーンの上に食材をのせてあげて口まで運ぶことから手助けしてあげましょう。

次号では食具の持ち方についてお話します。

参考・引用:「いただきます ごちそうさま」Vol.40、2012

健康ひとくちメモ「子どものやけど」

寒い時期になり、室内で遊ぶ機会が増えると、やけどの怪我が多くなります。食事中に熱いお味噌汁やスープなどをこぼしてやけどをする、暖房器具に触れてやけどをする、ポットや炊飯器の蒸気などでやけどをする、携帯用カイロやホットカーペット・湯たんぽなどで低温やけどすることがあります。いろいろな物に興味を示し触れようとする乳幼児期のお子さんの怪我には注意が必要です。

やけどはまず冷水で冷やしましょう。水膨れが出来てしまった場合は、水膨れを破らずに痛みがやわらぐまで10分～15分程度は冷やしましょう。服の上からやけどをしてしまった時は無理に服を脱がそうとせず、服の上から冷やして下さい。低温やけどは皮膚の表面が普通のやけどのように赤く腫れたりしていなくても皮膚の内部に傷が及んでいることがあります。ホットカーペットは高い温度設定の状態、同一体位で過ごさないこと、カイロや湯たんぽは直接肌に触れないようにしましょう。やけどの範囲が広い場合、やけどが深い(傷が深い)場合は、迷わずに医療機関にご相談下さい。

保健師:山室八潮

2・3月の予定

予約や申し込みは要りません。お気軽にご参加下さい。

2月5日(火) 10:30～11:30

ミニ保健講座 「子どものくせ」

…あゆのご保育園保健師によるテーマごとのミニ保健講座と相談を行います。

2月14日(木) 午前の部 10:30～11:30

おおきくなあれ 午後の部 14:00～15:30

～お子さまの身長・体重をはかってみませんか?～

…自由に身長・体重が計測できます。お気軽にご利用下さい。

2月15日(金) 13:00～14:30

ちょっとチャット

～親子遊びとテーマを決めたおしゃべり会～

…湘北短期大学の学生による手遊びやふれあい遊び、教員と利用者によるテーマを決めたおしゃべり会です。詳細はブログ「もうちょっとチャット」

<http://ameblo.jp/ayucc> からご覧頂けます。

2月25日(月) 11:00～11:30

ミニ育児講座 「絵本について」

…あゆのご保育園保育士より、絵本をテーマにミニ育児講座を行います。

3月5日(火) 11:15～11:30

おはなしなあに

…あゆのご保育園保育士による、絵本や紙芝居等の読み聞かせを行います。

3月13日(水) 午前の部 10:30～11:30

おおきくなあれ 午後の部 14:00～15:30

(2月14日参照)

3月15日(金) 13:00～14:30

ちょっとチャット

※都合により3月は親子遊びのみで、おしゃべり会はありません。

※3月25日(月) 11:30～12:40

ミニ食育講座

「好き嫌いについて」

…完了食・普通食を食べられる1歳前後のお子さん4組対象に園の給食を提供します。

※こちらの講座は申し込みが必要です。申し込みの詳細は別紙チラシ・HPにてお知らせ致します。



イベントは都合により日程等変更する場合がございます。最新のイベント案内をHP、お電話等でご確認下さいますようお願い致します。